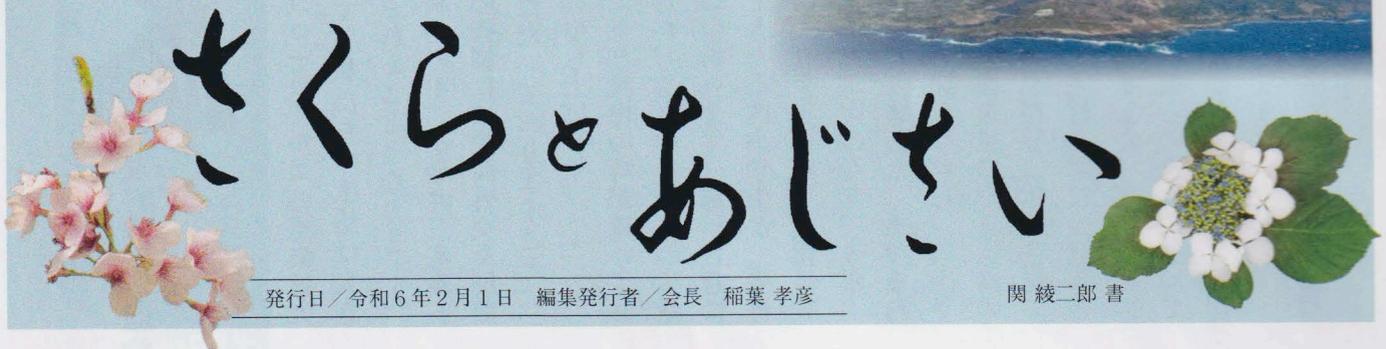


小金井三宅島友好協会会報 [第53号]



発行日/令和6年2月1日 編集発行者/会長 稲葉 孝彦

関 綾二郎 書



魅力あふれる三宅島

小金井三宅島友好協会会長

稲葉 孝彦



竹芝栈橋から南へ180km、太平洋に浮かぶりゾートの島、水平線に日が昇り日が沈み、人も自然もゆったりと時が流れる三宅島。

三宅島の中心は象徴である標高775m『雄山』が鎮座します。その雄山は20数年周期で噴火する活火山です。それにより島の至る所に噴火の痕跡が見られます。

平成12(2000)年8月の噴火は、4年半にも及ぶ島民の全島避難となり、人々は筆舌に尽くし難い苦難を体験しました。その噴火から24年が経過しました。島民の皆さんの不屈の精神で復旧・復活が進みました。また、自然も噴火による火山灰で島全体が灰色となり、島の東地域は火山ガスにより大木が白く立枯れて不気味に林立していました。その島にも昔通りの緑が復活し、自然の復元力の強さを感じさせます。

小金井市と三宅村の関係は、幕

末の侠客小金井小次郎(関小次郎)なしには語れません。小次郎は文政3(1856)年から慶応4(1868)年での12年間の流刑中、水不足の島民は3〜4kmも離れた海辺の湧水への水汲みは過酷でした。その重労働は女性と子どもの日課でした。その労苦を見かねた小次郎は江戸から「漆喰」を送らせ「小金井小次郎井戸」を作り、長い間、島民に使用され感謝されていました。その井戸は今も大切に保存されています。

それが縁で、市制20周年の昭和53年10月、三宅村と友好都市盟約を締結。以来46年間、小金井三宅島友好協会など市民レベルの交流で友好・親善を育んできました。

本会は、両自治体の友好・親善の促進を目的に、初夏、晩秋の旅で多くの市民に三宅島の魅力を実感していただくとともに、その素晴らしい景観を写真等で紹介する

「魅力ある三宅島写真展」を開催。また、市の行事には三宅島の物産の販売などで市民との架け橋としての役割を果たしています。

島の面積は小金井市の約5倍の55・50平方km、人口は約2300人。島一周の都道は山手線一周とほぼ同じ約30km。レンタカーやレンタサイクル、健脚の方はウォーキングで島を周遊するのもいいですね。四季温暖で島全体が国立公園であるため、恵まれた美しい緑の自然が守られバードウォッチングも楽しめる野鳥の宝庫でもあります。

マリンスポーツはダイビングをはじめ、ウインドサーフィンやフィッシングなども楽しめます。噴火跡や、紫陽花、そして、海、山、湖、空と星座と楽しみが凝縮されています。また、年間の平均気温が約17度と温暖で、何と云っても島民の暖かい人情は格別です。どうぞ、三宅島を訪ねてください。



小金井小次郎の墓



友好都市盟約締結50周年に向けて

小金井市長 白井 亨

新型コロナウイルスの感染拡大によって、私たちの生活は大きく制限されることとなりました。様々な制約の中、小金井三宅島友好協会の皆様には民間外交を展開していただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

長きに亘り我慢の時間が続いておりましたが、ようやく日常の生活が戻りつつあります。毎年8月に実施してきた市内小学生が三宅村を訪れる「青少年自然・文化体験交流事業in三宅」は今年、4年ぶりの再開となりました。希少な鳥のさえずりを聞きながら、火山や透明度の高い海を見て、三宅島の貴重な大自然を存分に体験させていただき、三宅村小学校の児童との交流も行いました。三宅村との友好の絆が、彼らの世代によって今後も引き継がれていくことを切に願っております。

また、小金井なかよし市民まつ

りも4年ぶりの再開となりました。貴協会のブースでは海苔や焼酎等の三宅の物産を販売され、多くの方が足を運んでいるのを拝見しました。特設ステージでは、小金井・三宅島友好式典において両市村の友好の絆の再確認を行い、

式典の後には阿古青年団による郷土芸能が披露され、獅子舞が観覧者の頭を囓む厄除けを行うなど、大変賑わっておりました。来年度以降もぜひお越しいただき、三宅島の魅力を発信していただければと思います。

さて、令和6年は小金井市と三宅村との友好都市盟約締結46年目となり、いよいよ50周年が近づいてまいりました。さらなる交流の強化に加え、ポストコロナ時代の新たな持続的な交流の在り方も模索していく必要があります。引き続き、貴協会の皆様並びにこれまでも本市と三宅島の友好交流を推進

してこられた皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、小金井市と三宅村の友好交流にご尽力いただいている全ての関係者の皆様に改めて感謝を申し上げますとともに、本市と三宅村との友好が末永く続くことを祈念してご挨拶とさせていただきます。



武蔵小金井駅南口 友好の碑「友」

小金井市内の賑わいづくりと町おこしの交流拠点

一般社団法人 小金井市観光まちおこし協会

KOGANEI CITY KANKO MACHIOKOSHI ASSOCIATION

「イベント情報」や「おすすめの見光スポット」など
小金井市内の魅力ホームページよりご覧いただけます。
まち歩きや桜の開花情報など、旬の話題も盛りだくさん。
観光の前にぜひチェックしてみてください。

小金井市イメージキャラクター ごきんちゃんグッズ 販売店です。

<http://koganei-kanko.jp/>
TEL : 042-316-3980

LIVE KOGANEI!
TOKYO JAPAN

小金井市観光まちおこし協会 検索



「友好音頭でより強い絆を」

三宅村村長 櫻田 昭正

小金井三宅島友好協会の皆様には、平素より小金井市と三宅村の友好交流にご尽力を賜り心より御礼申し上げます。

さて、令和5年5月に新型コロナウイルス感染症の取り扱いが第5類へ移行されたことから、現在の三宅村はコロナ前のように島内イベントを再開し、賑わいが戻ってきております。

小金井市と三宅村の交流では、6月に友好協会の皆様にご来島いただき「小金井三宅島友好音頭」のお披露目と振り付け練習会を開催していただきました。老若男女問わず沢山の村民が参加し踊りを習得、夏祭りで友好の絆を歌い舞いました。今後「小金井三宅島友好音頭」が市民の皆様と私たち村民に親しまれ、さらなる友好の架け橋になること期待しております。

また、8月には「青少年自然文化体験交流事業in三宅」で小金

井市の小学生20名が来島されました。火山体験学習のほか、シーカヤックやバーベキューなどを通して、本村の子供たちと学びながら友情を深めるとともに島ならではの様々な体験をしていただきました。次世代を担う児童同士の交流により両市村の友好の絆がさらに深まったと感じております。

現在、三宅島では島の特性を活かした観光資源の利活用に取り組んでおります。野鳥の宝庫である島でのバードウォッチング、噴火を繰り返すダイナミックな自然を間近に感じることで雄山火山観光等、自然を身体で感じることでできます。噴火の象徴である※スコリアを踏みしめる足音、風の音、鳥の声、潮の香・・・近年冬から春にかけて沖合いではザトウクジラが多数目撃されるようになりまし。四季折々、様々な姿を見せる三宅島です。小金井三宅島友好協会の皆様をはじめ、市民

の皆様のご来島を心よりお待ちしております。

人と人の心の通った交流は、時代がどのように変わろうとも色あせることはありません。時流に流されることのない、しっかりとした信頼関係を築きお互いを理解し、私たちの友好の絆が更に強く、末永く続くことを祈念いたします。

※火山灰のうち多孔質で軽石、暗色のもの



たまには
のんびり
島じかん。

Photo:三宅島フォトコンテスト2022応募作品「相合傘表」

調布空港からたったの50分。のんびり三宅島

(一社)三宅島観光協会
04994-5-1144





感動と感謝、小金井なかよし市民まつり

三宅島友好・交流協会会長 上松 幸男

この度、「令和5年度小金井市なかよし市民まつり」へのご招待を頂き、参加させて頂く運びとなりました。

今回の市民まつりは、新型コロナウイルスの影響もあり、4年ぶりの開催となりました。小金井市民の皆様も待ちに待った市民まつりではなかったかと思いますが、前日からの雨の影響もあり、一時開催が危ぶまれましたが、市民の皆様への思いが届いたのかのように天候も回復に向かい、式典開催となりました。

生憎の天候にもかかわらず会場には、100を超えるブースが立ち並び、小金井市民の皆様も多数ご来場され、華やかなオープニングセレモニーが執り行われました。これも、市民まつりの企画運営をなされている市役所職員の皆様、関係者スタッフの皆様の熱意、ご尽力によるものであると、大変「感

動」いたしました。

また、三宅島からは、郷土芸能である「獅子舞」を披露させて頂いている中、ブース中央に「三宅島がんばれ」ののぼりが掲げられておりました。そこは、三宅島物産展を運営して頂いている「小金井三宅島友好協会」のブースで、三宅島の銘菓である「牛乳せんべい」をはじめとした数々の物産品について、友好協会の方々が盛大にご紹介、販売してくださっておりました。その姿を見るにあたり、本当にありがたく、「感謝」しかございませんでした。

幕末の侠客小金井小次郎の縁で始まり、サクラ・アジサイの交換と繋がれ、さらに交流が深まり「友好都市盟約」が締結され、45年の歳月を経てもなお、小金井三宅島友好協会をはじめ、友好・交流にご尽力なされている皆様から頂いている「感動」と「感謝」をこれ



アカコッコ

から先の未来へも繋げていきたいと、大変微力ではございますが、私も皆様と同様に強く願っております。

親しい方への贈り物には郷土銘菓をご利用ください。

地方発送も承っております。

和洋菓子のお店
亀屋本店

武蔵小金井駅南口南一番街店 ☎042-385-8181

商工会は
行きます 聞きます 提案します

- 事業資金の推せん・斡せん
- 記帳や決算、税金のご相談
- 労働保険等労務相談

事業者と共に歩み、地域社会を豊かにする組織です

小金井市商工会

TEL : 042-381-8765 FAX : 042-382-8585

三宅島 初夏の旅

5月26〜28日

三宅島の自然と歴史に触れて

河野 陽一

初めての三宅島訪問。当日は、島民の方々も驚く程の好天に恵まれました。初夏を思わせる陽射の中、精力的に島内を観光し、自然の雄大さを体感する旅となりました。無気質な溶岩のみの世界から望む大海は青く澄み岩場で激しく砕ける波しぶきとのコントラストは、とても美しくいつまでも見たい風景でした。

噴火した雄山の側に目を向けると噴火により白く立ち枯れた木々を囲むように、多くの植物が、厳しい環境の中でも生育し新しい姿の緑を作り出していました。噴火の脅威と芽吹いていく自然の再生力は偉大としか言いようがありません。また、大路池の側の林道を軽い気持ちで進んだところ、太古の森を連想させるような大きなシ

ダや樹木の中、枝をよけつつ、複数の倒れている巨木の下をくぐり、時には跨ぎと、アップダウンに苦闘して、漸く辿り着いた樹齢600年以上といわれるスタジイの巨木「迷子樵」の姿は圧巻でした。何よりも心を打たれたのは、歴史資料館でも見た噴火による溶岩流と火山ガスの放出のため、児童、生徒達350人が先に島外避難をする様子を写した写真です。突然、親と離れて知らない土地で暮らさなければならぬ心細さに、見送られる子供達は勿論、子供を見送る保護者の胸中は、いかばかりであつたらう。去来する思いを巡らせ、思わず目頭が熱くなりました。

今回は小金井小次郎の子分の縁者という方や様々な方が参加され、思い思いに島を楽しませられ、思片手に島の話題で盛り上がり、2泊3日の旅が短く感じられ次の訪問機会を待ち遠しく思います。

三宅島友好交流協会及び村役場の皆様、美味しい食事を提供いただいた皆様、アテンドいただいた皆様、この場をお借りしてお礼を申し上げます。
素敵な旅ありがとうございました。



あなたの街の便利屋さん

お気軽にお問合せください

TEL 042-538-2585

MAIL info@team-bright.com

Bright 有限会社ブライト

total clean service 【営業時間：9時～18時】

〒190-0031 東京都立川市砂川町 6-43-22

つくば観光交通株式会社

・年中無休 ・24時間営業

サンキュー無線

一般タクシー TEL 042-388-0039

のご用命は (寝台)

車いすタクシー TEL 042-360-8989

のご用命は

ライフサポートサービス TEL 042-381-5004

始めました

三宅島初夏の旅

金子 博泰

今回初めての三宅島でした。機会があったら一度は訪れてみたいと思っていたので、この機会に行けてよかったです。

20年前に噴火した名残りの荒々しい溶岩の跡と、自然豊かな景色が素晴らしかったです。また、島全体的に人も車も少なく感じられ、観光地特有の喧騒もなくゆっくりと観光することができました。今回引率して頂いた三宅島友好協会役員の方の案内もわかりやすくとてもよかったです。

三宅島初夏の旅

鴨下 敏明

三宅島友好協会の主催で「三宅島初夏の旅」に行ってきました。13年ぶりの訪問です。船は以前とは比べものにならない位快適に過ごせました。

小金井小次郎が島流しで島に渡った時に井戸を掘ったり、島のために力を尽くし、島に産業を根付かせたと聞いています。有志で寄贈された小次郎井戸の記念碑に父の名前を見つけていい思い出になりました。とても楽しい旅行でした。

また参加したいと思います。家に帰ってから食べた「明日葉」の天ぷらは最高でした。

三宅島初夏の旅

島田 城嘉

空の青 海の青 爽やかな風に感激。そして同行の皆さん 島の皆さんの人間性に感激し又行くぞ海を渡り三宅島へ。

初夏の三宅島へ

田川 尚子

5月26日市役所20時集合、22時出航の大型客船で、部屋の小窓から、お台場、レインボーブリッジ、東京タワー、スカイツリー、数多くの飛行機の離着陸等東京の夜景をビールを飲みながら感動の声をあげ、ゆれも感じず早朝5時頃着港。大勢の釣り客と共に下船。

我々は三宅島村営のバスで民宿へ。お天気も良く、島は青葉に萌えています。稲葉小金井三宅島友好協会会長の寸暇を惜しまずツアーコンダ

クター、三宅島の方々のおもてなし、役員さんの額に汗してのきめ細やかな、お世話に甘え、短い滞在にもかかわらず、学びと数々の思い出をつくることができました。

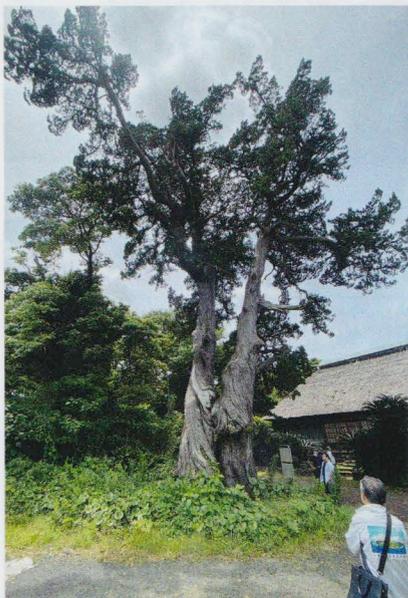
2000年の大規模な噴火により6割の樹木が影響を受けたなか、樹齢20年から数百年の巨樹が多くあたたかも三宅島を守っているかのように何十メートルにも高く枝を広げている姿に、そっと手を添えてパワーをもらい、又黒い溶岩に覆われた山、打ち寄せる波をブロックする絶壁の真つ黒な溶岩には自然の営みの凄みを目の当たりにいたしました。一方神社の境内、街道にけなげに咲くガクアジサイに品格を感じました。



民宿いけよし



ガクアジサイ



神着ビヤクシンの木

この度の旅行は、三宅島の歴史を学び、新鮮な魚、地元の生命力が強いと言われる、明日葉の天ぷら、郷土料理、心のこもった、にぎり寿し等大満足にいただきました。海山の景色、昼食に寄ったレストランの庭の真赤なハイビスカスの花は強く心を打ちました。早朝民宿の部屋から見る静かに打ち寄せる波を、心を空っぽに見つめ続け、小さな幸せ感で心を満たすに出来る旅でした。

三宅島初夏の旅

降旗 清

「三宅島初夏の旅」に参加させて頂き、感謝申し上げます。小金井三宅島友好協会が発足した頃、中野区より小金井市にお世話になることになりました。武蔵小金井駅の南口にある三宅島との「友好の碑」を拝見するたびに三宅島との深い友情を感じます。

三宅島の雄山は地球の営みであり地球が生きている証拠です。雄山の噴火は防ぐことはできませんが、現代の科学技術で噴火を予知することはできるはずで

三宅島に何ってまず感じたことは島を周回している道路が良く整備されていたことです。道路は島の方々の生活、更に三宅島にとっての社会資本です。小金井小次郎井戸を訪れ、井戸の水面に金魚が見えました。金魚が生息することは、水質が良いと云うことです。更に火口湖である大路池たいろいけにいきました。水の豊富なこの池は三宅島にとって宝物のように感じました。



アカコッコ館



おしやく 御笏神社

三宅島初夏の旅

領家 美津子

楽しい二泊三日の旅でした。有難う御座いました。今回で2回目、夫婦で参加出来るとても良い旅になりました。三宅島の「アカコッコ」を見るまでは又行きます。毎日良い天気にもぐまれ美しい海、空、三食とてもおいしい食事、楽しい旅行でした。島の観光バスの運転もとてもゆつくりされ心地よかったです。又、参加させて頂き有難うございました。



港にて



岡太楼本舗

三宅島晩秋の旅 (中止)

11月17日～19日に予定されていた三宅島晩秋の旅は、天候不順による欠航のため中止となりました。尚、三宅島産業祭は予定通り開催されたことを付け加えさせていただきます。

第69回 小金井桜まつり

荒木比佐子

3月25日(土)・26日(日)の両日、小金井桜まつりが都立小金井公園で開催されました。2020年からコロナ感染対策で中止になり4年ぶりの公園での開催でした。

桜は満開、私共も張り切ったの開店準備をしたのですが、あいにくの空模様で雨が強く降り出しこの雨に見客も少なかったが昼すぎから雨が上がり、花見客が増え、夜には久しぶりのライトアップで桜の花が照らされてとてもきれいでした。

二日目も大雨で商品が濡れないよう気を使ったりそれでもお客様が店に立ち寄って下さり有難かったです。



「市民まつり」を終えて

星野 伸之

10月14日・15日、伝統ある小金井なかよし市民まつりも今回で51回目を数えることとなりました。4年ぶりの開催となりましたが、行政機関・諸団体とのコミュニケーションの成果も有り無事に2日間の日程を終了することが出来、各方面の方々には深く感謝申し上げます。コロナ明けと晴天が重なり初日は多くの来場者で賑わったことに加え、三宅村からは吉田副村長はじめ多くの村民の方々とおふれ合うことが出来ました。

2日目は、あいにく昼過ぎまで

雨にたたられました。多くの方に島の特産品をご購入いただきました。



三宅島の特産といえば、明日葉を思い浮かべる方も多いと思います。明日葉を目当てにしていた方も多くいらっしゃいました。今日摘んでも明日も摘めるというイメージですが、驚くことに夏の猛暑で今年是不作の為、入荷出来ないという思いもよらないハプニング。異常気象を物語る一幕でした。2日目は、萌木ホールでの小金井市と三宅村の懇親会には小金井白井市長をはじめ多くの議員や各種団体の皆様におこしいただきました。三宅村からも吉田副村長はじめ議員、各種団体の方々にご参加いただき、有意義な交流が出来ました。特

に、三宅村伝統芸能の方々による小金井三宅島音頭をご披露いただき感激いたしました。

今後も、小金井市と三宅村との友好が末永く続くことを祈念いたします。

第一回がねい産業祭り

成本 淳平

第一回がねい産業祭りが11月11日(土)12日(日)の二日間、武蔵小金井駅前南口フェスティバルコートを中心に開催されました。以前の農業祭と黄金井名物市とが一体になり今年第一回の開催の運びになりました。駅前のロータリーでは市内の各店舗の名物が数多く出店があり、フェスティバルコートでは市内の農家様の自慢の野菜で造った大きな「宝船」が



祭りを盛り上げておりました。私達三宅島友好協会も三宅島物産の赤目芋、牛乳煎餅、レモン、芋焼酎など他物産品を数多く並べ販売しました。初日には三宅島自然ふれあい大使の三咲順子様にも販売のお手伝いをして頂きました。レモンは初日の午前中で売り切れてしまいました。他の物産品も段々と品切れになり、最終日の終わりに時間前には全品の完売となり多くの方に三宅島の物産品をご提供できることが出来うれしく思いました。二日目に「宝船」の無料配布もあり少し肌寒い二日間でしたが天候になんとか恵まれて無事に終了することが出来ました。



写真パネル展

荒木比佐子

市民の皆様には三宅島の美しく雄大な自然と文化を、そして当小金井三宅島友好協会との今までの活

動等を年表に表し紹介する「魅力ある三宅島」として9月21日(木)から25日(日)まで小金井宮地楽器ホールマルチパススペースで開催されました。三宅島観光協会からパネルをお借りし、村役場から島案内のパンフレット等提供頂きました。三宅村からは芳賀総務課長、山高広報課長がお見えになりました。

開催中には多くの方々のご来場を頂き、又パネルの前で質問にお答えしたり、少しでも三宅島の魅力を本会の活動についても分かっていただけだと思っております。



三宅村主催の小金井三宅島友好音頭振付講習会の見学に行つて

八木澤弘子

三宅島から、音頭の踊りお披露目と、練習の計画のお話しを小金井市中の五條珠翠先生へご依頼があり、6月24日三宅村文化会館において開催されることを聞きました。



小金井三宅島友好協会としては、役員の派遣をしないこととなりましたが、荒木理事と私、非常に気になり、また五條先生にも敬意を表わす意も加味して、私達の

気持で練習に参加して来ました。稲葉会長も個人で訪島されました。会場は盛況で島民100名もの参加がありました。

小金井市でも同様多くの市民への伝達を市議会の力をお借りいたしても市内各所から音頭の曲が流れてくる様に計画実施するべきと私は思いました。

三宅村から小金井市剣道大会に参加して

荒木比佐子

9月10日(日)、小金井市剣道連盟主催の剣道大会に三宅村から小・中学生6名、父兄指導者6名の計12名が参加されました。当協会から福平副会長等が応援と昼食飲みものを差しいれました。



定期総会

5月18日午後6時から、商工会館3階の萌え木ホールで開催された。

令和元年5月7日に総会が開催された後、コロナ禍による「緊急事態宣言」に伴い、同会もそれに従って、令和2・3・4年について、集会による総会審議を取りやめ、書面による処置を継続していた。そして、今年5月8日のコロナ感染症の位置づけの引き下げを見越して、4年ぶりに総会が開催された。

総会は、稲葉会長の挨拶から始まり、4年ぶりの開催に伴う会の進捗状況、三宅島の現状等が述べられた。

今回は、4年ぶりとのこと踏まえて、三宅島の現状・この間の協会の活動等映像をもって紹介された。

その後、議長に本間理事を選出して議事に入る。令和4年度事業報告、決算報告、令和5年度予算案、事業計画、役員改選の5議案が審議され、いずれも承認された。

令和4年度 事業報告

- 桜まつり「小金井公園」
三宅島物産販売
3月25日～26日
 - 令和3年度会計監査
第46期 定期総会
4月29日
(紙面回答による)
 - 「小金井三宅島音頭」を芸和楽
日本舞踊公演にて披露
〔宮地楽器ホール〕
6月5日
 - 初夏の旅
6月17日～19日
 - なかよし市民まつり「小金井公園」
三宅島物産販売等
10月
コロナにより中止
 - 農業祭
三宅島物産販売実施
小金井駅南口ロータリー歩道上
11月12日～13日
 - 晩秋の旅・産業祭
11月18日～20日
 - 新春のつどい
コロナにより中止
1月
 - 「さくらとあじさい」第52号発行
2月1日 1500部
 - 桜まつり
三宅島物産販売等
3月25日～26日
- 定例理事会（毎月第二火曜日 18時）
編集委員会14回

令和5年度事業計画

| 実施年月日 | 事業名 | 実施場所 |
|---|---|--|
| 令和5年3月25～26日 4月27日 5月18日 5月26～28日 9月 10月14～15日 11月11～12日 11月 | 桜まつり 令和4年度会計監査実施 (第47期) 令和5年度定期総会 市民「三宅島初夏の旅」開催 「魅力ある三宅島」写真パネル展開催 「なかよし市民まつり」(第51回) 参加 三宅島物産販売 「小金井市農業祭り」(第74回) 参加 三宅島物産販売 市民「三宅島晩秋の旅」(三宅村産業祭出席) | 三宅島 宮地楽器ホール 小金井公園 小金井駅南口ロータリー歩道上 三宅島 |
| 令和6年1月 2月1日 | 「新春のつどい」 会報「さくらとあじさい」第53号発行 | |
| その他 * 定例役員会 * 東小金井駅北口1号公園へ三宅島特産のがくあじさい植栽の推進 * 小金井市と三宅村の一層の友好を深めるために交流活動の推進 * 小金井市と三宅村の一層の友好を深めるために、「小金井三宅島友好音頭」の歌、踊りの紹介と推進 * 「魅力ある三宅島」写真パネル展の開催 * 会員増強 | | |



家周りの設営一式【ご提案から工事まで】
植栽造園・エクステリア・タイル・レンガ等

庭づくり

お任せください。

株式会社
秋葉タイル工業所

〒184-0003 東京都小金井市緑町1-2-37
TEL 042-381-9016 FAX 042-384-9956

住居まわりの環境をお手伝い!



さわやかな風をあなたに

空気調和・給排水衛生設備

ムサシノアロー株式会社

代表取締役
福平 恵一

本社 〒184-0003
東京都小金井市緑町5丁目21-23
TEL 042-382-0111 FAX 042-384-2155



令和4年度決算報告書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

歳入の部

単位：円

歳出の部

単位：円

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 備考 |
|------|-----------|-----------|---------------|
| 繰越金 | 59,400 | 59,400 | |
| 年会費 | 170,000 | 176,000 | |
| 助成金 | 900,000 | 900,000 | |
| 事業収入 | 2,350,000 | 1,355,850 | 農業祭・「旅」参加費他 |
| 寄付金 | 120,000 | 128,000 | さくらとあじさい広告収入他 |
| 雑収入 | 600 | 0 | 銀行利息他 |
| 計 | 3,600,000 | 2,619,250 | |

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 備考 |
|--------|-----------|-----------|---------------|
| 会議費 | 150,000 | 92,321 | 役員会・理事・編集会他 |
| 事務費 | 280,000 | 224,851 | 通信費・資料印刷代他 |
| 友好親善費 | 2,870,000 | 2,030,997 | 産業応援まつり・桜まつり他 |
| 会報発行費 | 250,000 | 264,330 | さくらとあじさい52号 |
| 渉外費 | 30,000 | 0 | |
| 雑費 | 10,000 | 0 | |
| 予備費 | 10,000 | 0 | |
| 計 | 3,600,000 | 2,612,499 | |
| 次年度繰越金 | | 6,751 | |

特別会計

寄付金¥648,062 - ワンタッチタープテント¥23,900 + 利息¥6 = 残高¥624,174

令和5年3月31日

上記の通り決算報告を致します。

会長 稲葉孝彦 ㊟
 会計 八木澤弘子 ㊟
 会計 星野伸之 ㊟

令和5年4月27日

上記の通り監査結果が適正であることを認めます。

監査 山口 暁彦 ㊟
 監査 大久保 佐一郎 ㊟

令和5年度予算

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

歳入の部

単位：円

歳出の部

単位：円

| 項目 | 予算 | 備考 |
|------|-----------|----------------|
| 繰越金 | 6,751 | |
| 年会費 | 180,000 | |
| 助成金 | 900,000 | |
| 事業収入 | 2,400,000 | 市民まつり・農業祭(仮称)他 |
| 寄付金 | 110,000 | さくらとあじさい広告料他 |
| 雑収入 | 3,249 | 銀行利子他 |
| 計 | 3,600,000 | |

| 項目 | 予算 | 備考 |
|-------|-----------|----------------|
| 会議費 | 150,000 | 総会・役員会・理事会他 |
| 事務費 | 250,000 | 通信費・資料印刷代他 |
| 友好親善費 | 2,860,000 | 交流費・市民まつり・交通費他 |
| 会報発行費 | 270,000 | さくらとあじさい53号 |
| 渉外費 | 30,000 | |
| 雑費 | 10,000 | |
| 予備費 | 30,000 | |
| 計 | 3,600,000 | |

特別会計

単位：円

| 項目 | 予算 | 備考 |
|-----|---------|----|
| 寄付金 | 624,174 | |

相続まちの相談室

Gムサシノ行政書士事務所

行政書士 星野伸之

- ・相続知識マスター・相続アドバイザー・空き家相談士
- ・家族信託コーディネーター・宅地建物取引士

〒184-0011 東京都小金井市東町4-33-4 Gムサシノ3階

TEL / FAX 042-381-3963

賃貸物件現状回復工事、ハウスクリーニング、
 建物清掃全般建物内装工事、建物のこと何でもご相談ください！



本社 / 184-0015 東京都小金井市貫井北町 3-7-4
 小金井営業所 / 184-0003 東京都小金井市緑町 1-6-45
 TEL / 042-386-5937 (代表) FAX / 042-386-5938
 E-mail / j.clean@jcom.home.ne.jp
 HP / http://jclean-housecare.co.jp

役員紹介

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|---------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|------|------|-------|-------|--------|--------|-------|-------|------|-------|-------|
| 相談役 | 〃 | 会計監査 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 〃 | 理事 | 〃 | 会計 | 事務局長 | 〃 | 副会長 | 会長 | |
| 神島 環子 | 山口 暁彦 | 大久保 佐一郎 | 細井 久恵 | 本間 紀行 | 福沢 政雄 | 針尾 日出義 | 信山 重広 | 都築 トヨ子 | 田中 勉 | 斉藤 浩 | 桂 雄二郎 | 岩崎 謙治 | 荒木 比佐子 | 八木澤 弘子 | 成本 淳平 | 星野 伸之 | 島村 靖 | 福平 良全 | 稲葉 孝彦 |



三本岳

新会員募集中！
 小金井三宅島友好協会の会員になりませんか！
 本会は小金井市と三宅村と盟約四十周年を越えての友好で結ばれております。是非ご加入を待っています。詳細は事務局へお問合せ願います。



小金井三宅島友好音頭 CD ジャケット

編集後記

小金井市民をはじめとした多くの方に、三宅島の魅力を伝える目的を有する小金井三宅島友好協会にとって、本誌「さくらとあじさい」の編纂は本会の最重要業務のひとつである。従って、編集委員として関与されていた本会役員と諸先輩方は本誌の編纂に全身全霊をもって臨まれていた。嗚呼かくも尊き活動であることよ。この尊き想いが存分に含まれた本誌の編纂に、今号から小職が携わることとなった。身の引き締まる思いである。しかしながら、機関紙・広報誌の編纂など門外漢である小職はいったい何をしたらよいのか？この一年本当に頭を悩ませ苦しんだ。結果、先ずは諸先輩方の力を120%お借りし、奇をてらわずこれまでと同様の編集活動を行うこととした。守破離という言葉を用いるならば、先ずは「守」である。どれだけ「守」を達成できているのか、読者の皆様のお声を是非お聞きしたい。そして「破」「離」に至ることのできるよう本誌「さくらとあじさい」を育て上げていきたい。(記・田中)

編集委員 荒木、田中、星野、八木澤、山口

小金井三宅島友好協会
 事務局 星野

〒一八四一〇〇一一
 小金井市東町四一三三一四
 ☎〇四二一三八一三九六三

住まいの事なら本間不動産へ

そろそろ1人暮らしがしたいな。

子供のためにも、庭付きの家を建てようか？

駅に近くて便利なマンションに住み替えようか？

貸貸・売買 仲介・管理 内外装リフォーム 新築工事 相続対策 資産活用

当社案内図

本間不動産 株式会社
 東京都知事免許(第)第52872号
 ホームページ <http://www.e-honma.com>
 お気軽に Tel.042-381-6863(代)
 ご相談下さい 小金井市本町5-19-1

